

**DMG MORI**

DIGITIZATION

ADDITIVE MANUFACTURING

AUTOMATION

dynam*ic*

TECHNOLOGY EXCELLENCE

DMG MORI QUALIFIED PRODUCTS

**EXCELLENCE**

第72期 中間  
株主通信

2019年1月1日●2019年6月30日

証券コード：6141

**DMG森精機株式会社**

## お客様にとって一番の 工作機械メーカーであること。 それが私たちのグローバルワンです。

工作機械の総合メーカーとして、DMG森精機は常に変革と挑戦を続けてまいりました。そして今、私たちが目指していること、それは、お客様にとって一番の工作機械メーカーになることです。最高の技術とサービスを絶えず追求し、工作機械の新しい価値と無限の可能性を、世界中のお客様へお届けしてまいります。

取締役社長  
博士(工学) **森 雅彦**



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、心よりお礼申し上げます。  
ここに第72期中間期(2019年1月1日から2019年6月30日まで)の  
株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

### Q 当中間期の業績は？

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上収益は238,646百万円(1,919,923千EUR)、営業利益は20,022百万円(161,081千EUR)、税引前四半期利益は17,030百万円(137,011千EUR)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は10,673百万円(85,870千EUR)となりました。工作機械関連の第2四半期累計受注額は2,234億円で、前年同期比では22%減となりました。この間の日本工作機械工業会の受注は29%減となり、業界平均より当社の減少幅は軽微に留まり

ました。5軸加工機・複合加工機など工程集約機、テクノロジーサイクル、DMQP、自動化システムなどお客様への価値提案を進めることで1台あたりの受注単価は前年度平均に比べ5%上昇しました。また、補修部品及び機械復旧サービスの強化に取り組んでおり、当該事業の受注は前年同期比11%増と貢献しました。機械受注は、全地域とも調整局面に入っており、受注全体の15%を占める日本が前年同期比41%減、19%を占める米州が37%減、16%を占める中国を含むアジアが29%減、50%を占めるロシア・トルコを含むEMEA(ヨーロッパ・中東・アフリカ)が20%減となりました。産業別は航空機

部品、医療関連向けは引き続き堅調に推移する一方で、自動車関連、一般機械、SMEs(Small Medium Enterprises)、建設機械向けが調整局面を迎えております。半導体装置関連向けは昨年の半ば以降低迷を続けております。

※ユーロ建表示は2019年1月～6月の期中平均レート124.3円で換算しております。

非接触給電で24時間連続稼働できる自律型走行ロボットAGVのほか、AIを活用した自動洗浄ソリューションも開発いたしました。さらにマニュアル類やパーツリストのデータ提供を開始、パソコンやタブレットでの管理が可能になり、紛失などの課題も解決しました。加えて情報検索への対応、複数の場所でマニュアルを共有することで業務の効率化も実現しています。

技術面では、ターニングセンタNLX 6000 | 1000、立形マシニングセンタDMP 70、アディティブマニュファクチャリング機LASERTEC 12 SLMを開発しました。NLX 6000 | 1000は、ベルトレス駆動のモーター体型大径主軸やその主軸と完璧に同期する回転工具主軸が特長で、建機・エネルギープラント業界のお客様に満足いただける

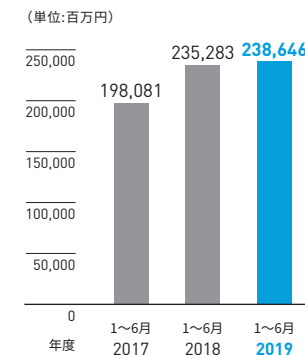
### Q 当中間期の技術と成果は？

事業戦略として、5軸加工機・複合加工機と自動化システムの導入によりお客様の製造工程を集約し、効率的に管理するデジタルサービスを強化しています。また、レーザセンサを搭載した

#### 連結売上収益

(1~6月) **2,386** 億円

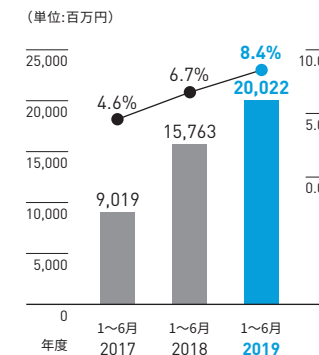
前年同期(1~6月)比 **34**億円増



#### 連結営業利益

(1~6月) **200** 億円 営業利益率 8.4%

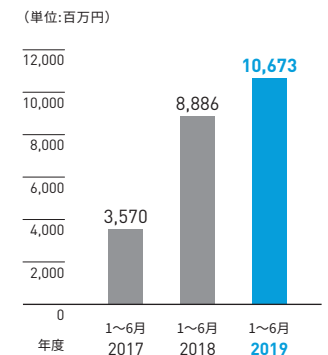
前年同期(1~6月)比 **43**億円増 営業利益率 1.7 ポイント増



#### 親会社の所有者に 帰属する四半期利益

(1~6月) **107** 億円

前年同期(1~6月)比 **18**億円増



製品です。DMP 70は全軸に搭載したスケールフィードバックと高い剛性、冷却機能により5μmという高い位置決め精度を実現しました。LASERTEC 12 SLMは、全機械設定とプロセスパラメータが調整できるオープンシステムを採用、材料粉末の合金の構成要素と粒度分布の入力で最適パラメータが算出されるINTECH社のソフトウェアAMOptoMetを搭載することが可能です。そのほか、アディティブマニファクチャリングの発展とともに注目を集めるトポロジー最適化技術を活用した工作機など、最新技術を積極的に取り入れてお客様の生産性向上に貢献します。販売面においては、4月に中国国際工作機械展覧会(CIMT 2019)へ出展したほか、アメリカ・シカゴにて自社展示会イノベーションデーを、イタリア・ベルガモ工場及びドイツ・ピーレフェルト工場にてオープンハウスを開催しました。7月の伊賀イノベーションデー2019では、大型5軸制御マシニングセンタDMU 340 Gantryや日本

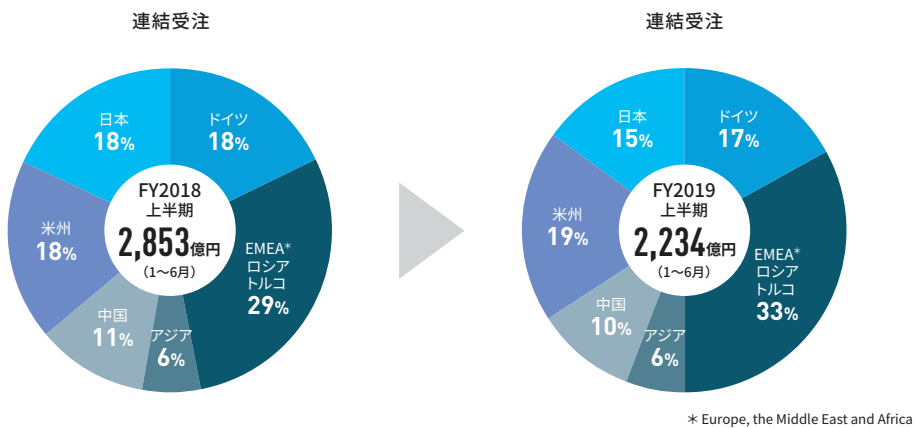
初出展となる5軸仕様のDMP 70、NLX 6000 | 1000、LASERTEC 12 SLMを含む36台を展示し、デモ加工を実施しました。また、創立70周年を記念して発足した「5軸加工研究会」のブースではDMU 50 3rd Generationの貸出先である全国70社のお客様活用事例を展示しました。さらに、当社の生産設備に導入した最新技術もご紹介しました。グライディング(研削)仕様の5軸加工機でリードタイムを約40%改善した精密加工工場、機械の稼働監視や生産管理を実現するデジタルシステムを駆使して刷新されたボールねじ工場、組立工場や、最新の倉庫管理システムを取り入れたグローバルパーツセンターの様子など、自社を実証の場として推進してきたデジタル化の一例としてご紹介しました。第72期の中間配当につきましては、当社の業績と経済情勢を勘案し、1株あたり30円を9月13日(金)からお支払いすることといたします。

## Q 通期の見通しは？

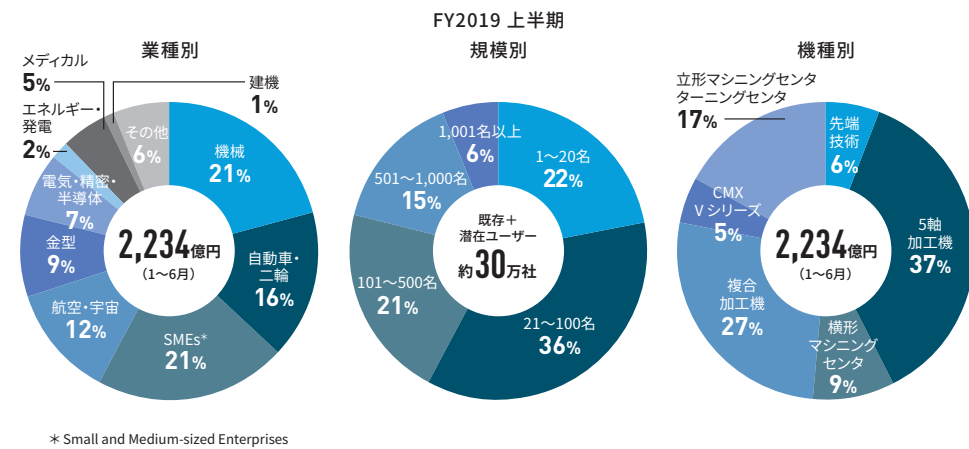
米中貿易摩擦や英国のEU離脱など、グローバル経済に影響を与える不確定要素から、受注確定までの時間軸が長期化する状況が続いておりますが、9月には世界最大の工作機械見本市であるEMO Hannoverがドイツで開催される予定であり、その機会も最大限に活かし、受注拡大に努めてまいります。企業の持続的な成長に向けた取り組みとしては、勤務時間の上限を12時間とし、退社から次の勤務開始まで12時間以上あけるインターバル制度を導入したほか、初任給の大幅な引き上げ(大卒初任給が前年の218,400円から250,000円)を行いました。これらの取り組みにより業務効率と生産性の向上の点で効果が出ております。引き続き「よく遊び、よく学び、よく働く」をモットーに、あらゆる領域で優秀な人材を確保し、より安心して

長く働き続けられる体制を整えてまいります。また、海洋冒険家の白石康次郎氏を迎えて発足した「DMG MORI SAILING TEAM」は、単独・無寄港・無補給の世界一周ヨットレース「Vendée Globe 2020」への参戦を目指しています。建造中の新艇には、当社最新鋭の同時5軸加工機並びに複合加工機を使用して加工された部品が搭載されております。今後もチームの活動を通して、グローバルな製造業の発展に貢献してまいります。当期の年間配当については、1株あたり60円の予定に変更はありません。配当政策は配当性向30%程度の基準に加えて、安定かつ継続的増配も目指しております。来期は事業環境及び業績動向にもよりますが、当期予定並みの60円の配当を継続できるよう努力してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 地域別受注構成 ※金額ベース



## 受注構成 ※金額ベース



2019年7月

## 伊賀イノベーションデー2019開催

2019年7月9日(火)～13日(土)の5日間、DMG森精機伊賀事業所にて伊賀イノベーションデー2019を開催しました。今回は、「5軸化・デジタル化・自動化」をテーマとし、大型5軸制御マシニングセンタ2台、日本初出展の3機種を含めた計36台を展示してデモ加工を実施しました。金型、航空宇宙、自動車、医療の各分野に最適なソリューションを機械のみならず、ワーク、DMG森精機認定周辺機器(DMQP)とともにご提案しました。また、昨年に創立70周年を記念して5軸加工機の普及を目的として全国70社のお客様とともに発足した「5軸加工研究会」の展示スペースも設置し、お客様の活動の成果をご紹介しました。会場内の大型モニターでは約100本の映像を放映したほか、ステージプレゼンテーション、技術セミナー、5軸加工体験や工場見学を通じてお客様に最適なソリューション提案を行いました。

2019年度下半期も国内外の展示会に積極的に参加する予定で、9月にドイツ・ハノーバーで開催される第22回EMO Hannover、10月に名古屋で開催されるメカトロテックジャパン2019(MECT)、11月にドイツ・フランクフルトで開催されるFormnextに出展します。



2019年5月

## マニュアルのデジタル化開始

デジタル化の新しいご提案として、2019年5月から工作機械のマニュアルをデータとしてお客様にご提供するデジタル化を開始いたしました。操作マニュアル、メンテナンスマニュアル、パーツリストをデジタル化することで、パソコンなどで一元管理することが可能となり、必要な情報に素早くアクセスし、業務の効率化を図ることができます。伊賀イノベーションデー2019では、多くのお客様にデジタル化の実証工場としている伊賀事業所をご案内いただきました。

2019年7月

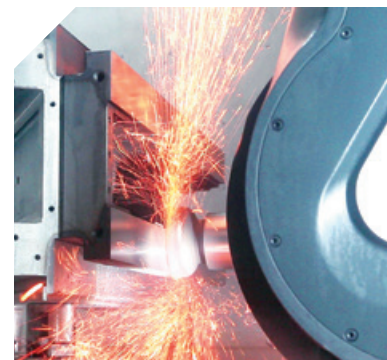
## グローバルパーツセンタ 移転オープン

グローバルパーツセンタを奈良から伊賀事業所内に移転し、7月9日に開所式を行いました。開所式では取締役社長の森雅彦の挨拶のほか、ご来賓の方々とともにテープカットを行いました。続く内覧会では最新鋭の高層自動ラック倉庫を含め、完成したばかりの設備をご覧いただきました。新グローバルパーツセンタでは、ピッキング最適化アルゴリズムにより効率的な作業が可能となり、パーツを収納できる量が従来比1.5倍となりました。全世界のお客様に向けた受注後24時間以内のパーツ発送率(2019年3月時点で95%)をさらに高めます。



2019年6月

## DMG MORIの生産改革 5軸加工機DMC 125 FD duoBLOCK導入



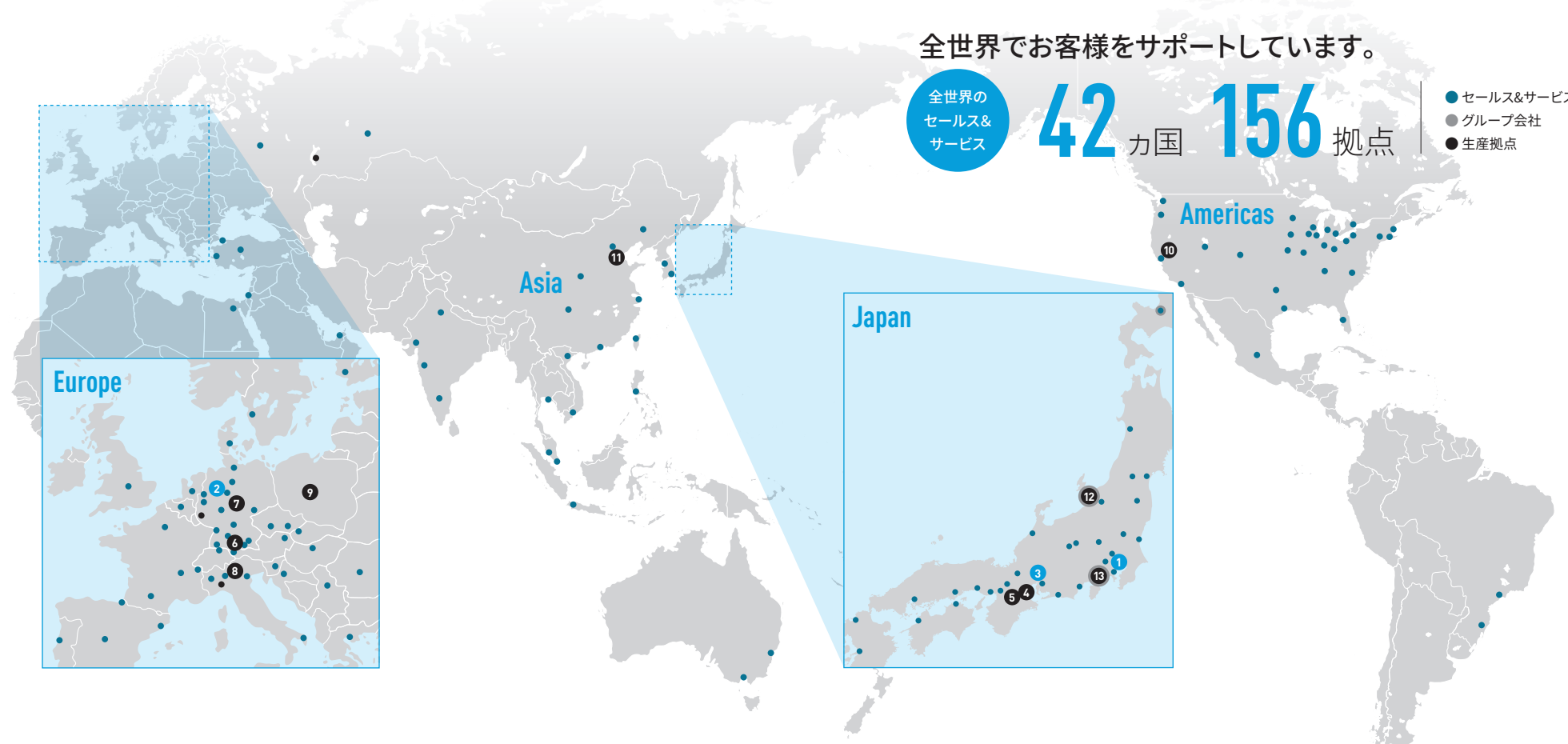
伊賀事業所の伊賀精密加工工場でグラインディング(研削)仕様の5軸加工機DMC 125 FD duoBLOCKを導入し、2019年6月から本格稼働しました。DMC 125 FD duoBLOCKは、当社のターニングセンタの基幹部品であるサドルやY軸仕様のベッドなどの量産加工に使用しています。1台の機械で、ワンチャッキングで加工できることから段取り替えが不要となり、全体のリードタイムが約40%削減されました。DMC 125 FD duoBLOCK導入を含めた生産改革のノウハウは、伊賀イノベーションデー2019で、お客様にご案内いただきました。

全世界でお客様をサポートしています。

全世界の  
セールス&  
サービス

42 力国 156 拠点

- セールス&サービス
- グループ会社
- 生産拠点



グローバル  
ヘッドクォーター

DMG MORIのセールス・サービス・マーケティング・経理財務・人事を統括するグローバル本社です。



1 東京

ナショナルヘッドクォーター

ドイツ

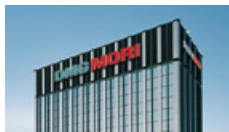
DMG MORI AGの本社として機能します。



2 Bielefeld

日本

DMG森精機の本社として機能します。



3 名古屋

開発・生産 (日本)



4 伊賀



5 奈良  
奈良システムソリューション工場

開発・生産 (ドイツ・イタリア・ポーランド・アメリカ・中国・グループ会社)



6 Pfronten (ドイツ)



7 Seebach (ドイツ)



8 Bergamo (イタリア)



9 Pleszew (ポーランド)



10 Davis (アメリカ)



11 Tianjin (中国)



12 太陽工機 (新潟)



13 マグネスケール (神奈川)

※主要開発・生産拠点、他数ヶ所

私たちの生活は衣食住に加えて、移動する、通信する、健康に暮らすなどの行動で成り立っています。

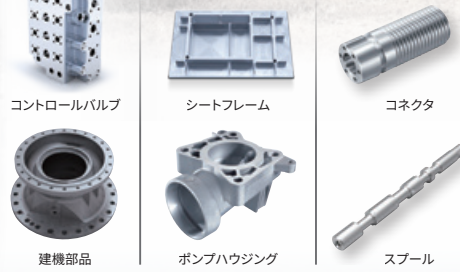
そのすべての人間活動に工作機械は欠かせません。

例えば、ペットボトルは工作機械によって削られた金型に原料を流し込んで作られています。

同様に、発電所にも、飛行機にも、人工関節にも、遊具にも、もとをたどれば工作機械が関わっています。

工作機械の進化によって、私たちの世界はより豊かになります。

## 機械・ロボット・社会インフラ



コントロールバルブ

シートフレーム

コネクタ

建機部品

ポンプハウジング

スプール

## 航空・宇宙



高圧コンプレッサハウジング

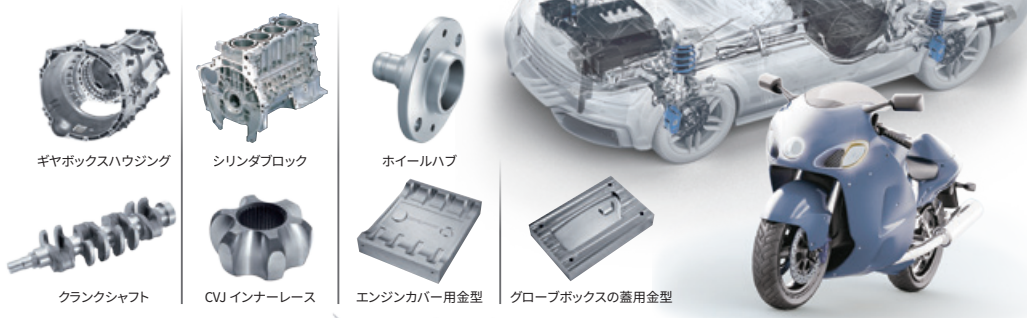
ファンディスク

コンプレッサディスク

ブリスク

トルクリンク

## 自動車・二輪・EV



ギヤボックスハウジング

シリンダブロック

ホイールハブ

クランクシャフト

CVJ インナーレース

エンジンカバー用金型

グローブボックスの蓋用金型

## 資源・エネルギー



タービンブレード

ドリルヘッド

リング

水力発電タービン

## 半導体・IoT・センサ



光通信用スライドスリーブ

## 金型・精密部品



ホビー用金型

トレーニングシューズ用金型

ペットボトル用金型

鉄道模型用金型

携帯電話用金型

ハンディクリーナー用金型

## メディカル



膝関節

股関節

義歯

ソケット

骨ねじ

骨プレート

連結財政状態計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当中間期
	2018年 12月31日現在	2019年 6月30日現在
流動資産	244,029	<b>240,309</b>
非流動資産	284,393	<b>291,533</b>
有形固定資産	128,686	<b>122,269</b>
のれん	68,854	<b>66,459</b>
その他の無形資産	65,399	<b>62,513</b>
その他	21,454	<b>40,292</b>
資産合計	528,423	<b>531,843</b>
流動負債	314,537	<b>310,437</b>
非流動負債	99,718	<b>99,914</b>
資本合計	114,166	<b>121,491</b>
負債及び資本合計	528,423	<b>531,843</b>

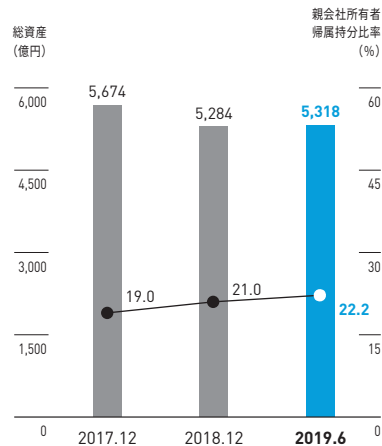
連結損益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

科目	前中間期	当中間期
	自2018年1月1日 至2018年6月30日	自2019年1月1日 至2019年6月30日
収益合計	237,152	<b>241,604</b>
売上収益	235,283	<b>238,646</b>
その他の収益	1,868	<b>2,957</b>
費用合計	221,388	<b>221,581</b>
商品及び製品・ 仕掛品の増減	△8,772	△ <b>11,811</b>
原材料費及び 消耗品費	116,239	<b>118,178</b>
人件費	63,938	<b>65,698</b>
減価償却費及び 償却費	8,988	<b>10,827</b>
その他の費用	40,995	<b>38,688</b>
営業利益	15,763	<b>20,022</b>
税引前四半期利益	13,603	<b>17,030</b>
四半期利益	9,126	<b>11,095</b>
親会社の所有者	8,886	<b>10,673</b>
非支配持分	240	<b>421</b>

総資産／親会社所有者帰属持分比率



連結キャッシュ・フロー計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

科目	前中間期	当中間期
	自2018年1月1日 至2018年6月30日	自2019年1月1日 至2019年6月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	21,292	<b>16,827</b>
投資活動による キャッシュ・フロー	△6,304	△ <b>5,238</b>
財務活動による キャッシュ・フロー	△43,993	△ <b>18,686</b>
現金及び 現金同等物に係る 換算差額	△2,459	△ <b>744</b>
現金及び 現金同等物の 増減額(△は減少)	△31,464	△ <b>7,842</b>
現金及び 現金同等物の 期首残高	64,973	<b>27,368</b>
現金及び 現金同等物の 四半期末残高	33,509	<b>19,525</b>

詳しい解説は「連結決算Q&A資料」より  
ご覧いただけます。

DMG森精機 投資家

検索

<https://www.dmgmori.co.jp/corporate/ir/>

Q1 2019年度の利益増減要因は？

上半期(2019年度1~6月)の営業利益は200億円となり、前年同期間の158億円から42億円増加しました。プラス要因は、数量増で16億円、5軸化・複合化・自動化による売上総利益の改善で25億円、サプライチェーンの改善で12億円、年度期初から導入したカンパニー制導入による業務効率の改善などで16億円、合わせて69億円となりました。マイナス要因は、ユーロに対する円高により9億円の為替目減り及び差損が発生したほか、人件費が18億円増加し、合わせて27億円となり、差引42億円の増益となりました。

Q2 受注・受注残高が減少する中、  
2020年度の業績をどのように見たら良いか？

工作機械の需要、受注環境の先行きの見極めは困難であり、現段階で2020年度の業績についてコメントをすることは適切ではないと考えます。ただ、重点施策として、DMG MORIグループは、5軸化・複合化・アディティブマニファクチャリングなどの先端加工製品及び、自動化・デジタル化などの強みに加え、グローバルでの直販体制を強みとして受注拡大に努めてまいります。損益面では、より高い付加価値をお客様に提供することで売上総利益率を確保する一方、サプライチェーンの改善、業務効率の改善に努めてまいります。

DMG MORIの  
SDGsへの取り組み

DMG MORIのCSR活動は、長期的な視点で事業活動を俯瞰し、持続的成長へつながるよう指針を決めています。グローバル企業の一員として、持続可能な開発目標(SDGs)への貢献を目指しています。



関連する目標

DMG MORIの取り組み



- 中古機販売
- 省エネ技術(GREENmode)によるエネルギー消費量抑制
- 製造現場における排出量のモニタリング



- 厳格な輸出管理手続に基づいた、製品の平和利用を担保



- 女性が働きやすい労働条件整備
- 従業員国籍の多様性
- メリハリをつけた働き方で、生産性向上



- DMG森精機奨学基金への拠出
- 大学、高等専門学校への助成
- 学術関連団体との連携による研究開発

株主様向け **伊賀事業所見学会のご案内**

見学会では、オペレータが最新鋭の工作機械をご説明するほか、実演加工をいたします。皆様のご応募をお待ちいたしております。



※今年6月に開催した東京での見学会の様子

日時 **2019年12月3日(火) 11:20~14:30**

見学場所 伊賀事業所 グローバルソリューションセンター 組立工場

参加費 無料 (集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担をお願いいたします)

募集対象 2019年6月30日時点でDMG森精機の株式を100株以上保有されている方 (ご同伴は1名様まで、小学生以上)

募集定員 80名 (応募多数の場合は抽選)

交通 バス(名古屋駅、新大阪駅⇄伊賀事業所)もしくは自家用車

備考 昼食をご用意しております

申し込み方法 左記のQRコードもしくは下記のURLからのお申し込みのみとさせていただきます。  
<https://www.dmgmori.co.jp/sp/irtour/>



申し込み期間 2019年9月13日(金) 9:00 ~ 10月8日(火) 17:00  
抽選結果は10月31日(木)に、メールと上記サイトにてご連絡いたします。

お問合せ DMG森精機株式会社  
広報グループ E-mail : users@dmgmori.co.jp

会社の概要

2018年12月31日時点

会社名	DMG森精機株式会社
資本金	51,115百万円
設立	1948年10月
本店(登記上)	〒639-1160 奈良県大和郡山市北郡山町106番地 TEL : 0743-53-1125(代)
名古屋本社	〒450-0002 名古屋市中村区名駅2丁目35-16 TEL : 052-587-1811(代)
東京グローバルヘッドクォータ	〒135-0052 東京都江東区潮見2丁目3-23 TEL : 03-6758-5900(代)
主な事業内容	工作機械(マシニングセンタ、ターニングセンタ、複合加工機、5軸加工機及びその他の製品)、ソフトウェア(ユーザインターフェイス、テクノロジーサイクル、組込ソフトウェア等)、計測装置、サービスサポート、アプリケーション、エンジニアリングを包括したトータルソリューションの提供
従業員	13,042名(連結)
ホームページ	<a href="https://www.dmgmori.co.jp">https://www.dmgmori.co.jp</a>

株式の状況

2019年6月30日時点

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数	124,176,612株(自己株式1,777,071株を除く)
単元株式数	100株
中間期末株主数	36,009名

大株主

2019年6月30日時点

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,537	5.19
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,862	3.86
森 雅彦	3,591	2.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(森記念製造技術研究財団口)	3,500	2.78
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140051	3,492	2.77
DMG森精機従業員持株会	3,078	2.44
野村信託銀行株式会社(投信口)	2,812	2.23
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	2,450	1.95
CDSL AS DEPOSITARY FOR OLD MUTUAL GLOBAL INVESTORS SERIES (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ)	2,431	1.93
野村信託銀行株式会社(DMG森精機従業員持株会専用信託口)	2,044	1.62

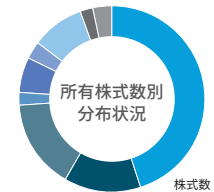
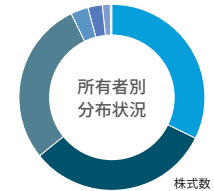
(注)持株比率は自己株式を控除して計算しております。なお、自己株式には「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」により野村信託銀行株式会社(DMG森精機従業員持株会専用信託口)が所有する当社株式(2,044,900株)は含んでおりません。

役員

2019年6月30日時点

取締役社長	※ 森 雅彦
取締役副社長	クリスチャン・トーネス
取締役副社長	※ 玉井 宏明
取締役副社長	※ 小林 弘武
専務取締役	藤嶋 誠
専務取締役	ジェームス・ヌド
常務取締役	古田 稔
取締役	青山 藤詞郎
取締役	野村 剛
取締役	中嶋 誠
取締役	御山 尚資
常勤監査役	川山 登志雄
監査役	土屋 総二郎
監査役	川村 嘉則

(注)1.※印は、代表取締役を示しています。  
2.取締役の青山藤詞郎、野村剛、中嶋誠、御山尚資の4名は、社外取締役です。  
3.監査役の土屋総二郎、川村嘉則の2名は、社外監査役です。





## 株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
期末配当金 受領株主確定日	12月31日
中間配当金 受領株主確定日	6月30日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-782-031(通話料無料)
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 電話：0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 市場第1部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://www.dmgmori.co.jp">https://www.dmgmori.co.jp</a> (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未滿株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ホームページのご案内

<https://www.dmgmori.co.jp>

ホームページにて当社の企業情報を随時公開しています。

製品紹介、各種リンク、サポート情報などを掲載しているほか、コーポレートサイトでは決算短信などもご覧いただけます。



TOPページ



コーポレートページ



投資家情報ページ (IR資料)



Facebook 毎日更新中



いいね!

お待ちしております!

